

## 市のスポーツ振興に功績

### 小坂今朝和氏に文部科学大臣表彰

表彰



受賞報告に訪れた小坂氏（右）

市スポーツ推進員を務める小坂今朝和氏（赤水）が11月12日、文部科学大臣スポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。小坂氏は、昭和55年から今まで約35年間の永きにわたり、市のスポーツ振興と地域のスポーツ指導者として活躍。現在も、阿蘇郡市スポーツ推進委員協議会会長として、阿蘇地域全体のスポーツ振興に尽力され、その功績が認められたものです。小坂氏は、「仲間と楽しく活動できたことが良かった。これから後継者の育成に力を入れていきたい」と喜びを語りました。

News



表彰状を受け取る和みの花みち会の井上和子さん。優秀賞には西3区老人会（宮地）と、うぶさん会（狩尾）がそれぞれ選ばれた。

## 7年連続最優秀賞！

### 道路美化コンクール「和みの花みち会」

7月から10月にかけて行われた道路河川環境美化コンクールの表彰式が11月17日、市役所で行われ、滝水地区の「和みの花みち会（大塚國勝代表、11人）」が7年連続の最優秀賞に選ばれました。環境美化と住民の憩いの場づくり推進の取り組みの一環として市が毎年行う本コンクールは、ことしは19団体に参加いただきました。最優秀賞を受賞した同会の大塚会長は「美化活動が長生きの秘訣になっている。健康と元気を求めてこれからも頑張りたい」と喜びを語りました。

## 10年ぶり再訪で住民交流

### JET プログラムで元 ALT マーク氏来訪

わだい



住民を囲み意見を交わすマーク氏（右）

阿蘇市でALTとして指導経験（H14～17）のあるマークフライ氏が10年ぶりに来日、11月11日と12日に阿蘇市を訪れ、地域住民らとふれあいました。語学指導を行う外国青年招致事業「JETプログラム」里がえり事業で来訪したマーク氏は、市内の観光施設などをめぐり、ゆかりの地で地域の人たちとの再会を果たしました。市役所で地域住民を囲み行われたワークショップでは、同プログラムを通じた情報発信などについて、住民を交え活発な意見が交わされました。



表彰  
 (一社)日本自動車連盟熊本支部事務所の駒木俊彦所長(左)から盾を受け取る佐藤市長(中央)と山本理事長(右)

## 道の駅「阿蘇」が熊本県1位!

JAF実施のアンケート、九州では5位

JAF日本自動車連盟が7月から9月にかけて実施した「あなたのイチオシ道の駅アンケート」で、道の駅阿蘇が県内で第1位を獲得し11月20日、市役所で表彰式が行われました。

このアンケートはJAF会員向けに実施されたもので、九州でも第5位に入選。観光情報が手に入りやすいことなどが高く評価されました。

道の駅を運営するNPO法人ASO田園空間博物館の山本章夫理事長は「阿蘇独自のおもてなしの心で、これからも皆さんをお迎えしたい」と語りました。

## 練習成果、ステージで披露

第10回こども芸術祭

第10回こども芸術祭が11月14日、阿蘇体育館で開かれ、保育園や小学校など17団体が参加し、力の入った各演目で来場者を沸かせました。

「くまもと教育の日」、「熊本県芸術文化祭」の取り組みの一端として毎年開催されるこの催しは、郷土芸能や文化に触れることで地域の素晴らしさを感じてもらおうと行われているもので、こころは韓国の団体が特別出演し、太鼓や舞踊を披露。来年3月に閉校となる小学校4校も出演し、会場から大きな拍手が送られました。



古城保育園まどか学童クラブによる太鼓演奏



MR装置の説明を受ける園児

## 病院の設備はすごいなあ

りんどう保育園の園児が施設見学

りんどう保育園の年長児22人が11月27日、阿蘇医療センターと阿蘇広域消防本部を見学しました。

小さい頃からさまざまな職業に触れることで、将来の夢を持つことの大切さを育もうと、同園が初めて企画したものです。

阿蘇医療センターでは、MRI機器などの検査機器や手術室、災害時などに活用されるDMAT(ディーマツト)車両などを見学。園児は、医師や職員の説明に耳を傾け、興味津々に聞き入っていました。

## 地域農業の発展に尽力

### 阿部樹範氏に緑白綬有功章

農業を営む阿部樹範氏（折戸）が11月17日、公益社団法人日本農会主催の表彰で、農事功労者として緑白綬有功章を受章しました。

阿部氏は、40余年にわたり農業を営み、特に畜産業では粗飼料生産に取り組み規模を拡大。肉用牛の繁殖や乳製品の製造など幅広く展開するとともに、地域酪農家に技術提供などを行い、地域農業の発展に尽力その功績が認められました。

阿部氏は「この受章が若手農業者の励みになればと願います」と喜びを語りました。



市役所に受章報告に訪れた阿部氏（右）

## これからの阿蘇ジオを考える

### 阿蘇カルデラ国際シンポジウム2015

阿蘇カルデラ国際シンポジウム2015が12月1日、阿蘇火山博物館で開かれ、阿蘇郡市町村長や関係者など約200人の参加がありました。

昨年9月の阿蘇ジオパーク世界認定1周年を記念して開かれたもので、日本ジオパーク委員会の設立などに関わった渡辺真人氏が講演。ジオパークがユネスコ正式事業化されたことを受け、これからの取り組みの方向性などについて触れ、「地域の人々自身が考え、よそではできない体験を提供していくことが大事」と講演しました。



講演する渡辺氏。講演後はパネルディスカッションも行われ、阿蘇グローバルジオパークのこれからについて活発に議論が交わされた。※来日予定だったパトリック・J・マッキーバー氏は、緊急な事情により来日が困難となり、内容が変更されました。

## 阿蘇市初の営農組合法人化

### 農事組合法人黒流設立、営農効率化図る

農事組合法人黒流の設立総会が12月2日、市内ホテルで開かれ、組合員32名による集落営農法人が設立されました。

農業者の高齢化や後継者不足が危ぶまれる中、効率的な営農によりコスト削減と高収益化を図ることなどを目的に、黒流町集落営農組合が法人化したもので、集落営農組合の法人化は阿蘇市で初めてとなります。

発起人の本田吉信代表は「作業の効率化などで採算性を上げ、農業後継者を育て、黒流町だけではなく、阿蘇市が発展することを願う」と抱負を語りました。



農事組合法人黒流の構成員と関係者。同法人の経営面積は約100畝。水稻や大豆、麦、飼料作物などを栽培予定。